

## 令和5年度「市長と語り合う会」について（北仙道地区）

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 10月23日（月）	北仙道公民館	19:00～19:50	13	1	14

- 市側出席者  
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、福祉環境部長、会計管理者、教育部長、秘書課長

### 2 会の概要

- 開会（秘書課長）
  - ・ 会の趣旨説明
  - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

#### 1. 令和5年度 施政方針の考え方

##### ・ウィズコロナからアフターコロナへ

新型コロナウイルス感染症については、令和2年2月頃から日本でも流行し始めた。本年5月からは、感染法上の位置付けが5類に引き下げられ規制は緩んできたところあるが、その後においても市内で感染者が出ている。高齢者の方や基礎疾患のある方は、重症化するリスクがあるので、感染拡大には十分注意しなければならないところであるが、一方で、人と人の繋がりや市内経済の循環を考えたときには、ある程度イベント、会合等再開していく必要がある。感染状況や経済状況をよく見ながら市民への声掛けを行っていきたいと考えている。

##### ・持続可能な未来都市の実現

持続可能な未来都市というのは、いくつか考えがあるが、一つは、地球温暖化である。地球温暖化は、温室効果ガスの排出量が増えることにより温度が上がってくると言われている。例えば物を燃やすことによる世の中の仕組みを変えていく等、環境に配慮した取り組みを進めていかなければいけないところである。市でも、これまで照明施設をLEDに変えたり、施設の屋根に太陽光パネルを設置する等行ってきた。また市で調達する電力も、再生可能エネルギーでの電力へ切り替えて調達しているところである。

また、コロナによる感染症の対応として、例えば人と人が会わずに会議をするやり方や、通勤しないリモートで行うなど、新しい技術を使って対応していく事も必要である。市においても、本年度から亡くなられた際の手続きを、出来るだけ1カ所で済むようにする「おくやみサポートサービス」を始めている。また1階の市民課等の窓口の改修も行っており、出来るだけ手続きが簡素に進むようにしていきたいと考えている。

更に持続可能なという意味でいうと、市の財政状況も大変重要である。市が持続的に機能し市民サービスを続けるためには、財政基盤が必要となる。そういう意味でも、歳入を増やし歳出を減らす行政財政改革の努力も引き続き進めていきたいと考えている。

#### 2. 令和5年は様々な節目の年

##### ・JR益田駅開業100周年

大正12年4月にJR益田駅が開業し、この時に山口線が益田駅に繋がり全線開通した。またその年の秋には、山陰本線も益田駅まで繋がった年であり、益田市の鉄道路線が大きく改善した年であった。

一方で昨今のコロナの影響や地方の人口減少により、利用客が減り経営状況が大変厳しくなっており、県内でも路線の廃止の動きが出ている。今後は、これまで以上に鉄道の利用について、

行政もしっかり活用していくとともに、市民の皆様にも活用していただくよう呼び掛けていきたいと考えている。

・萩・石見空港開港30周年

平成5年の7月に開港して今年が30周年となる。空港については、東京線の1日2往復運航が令和7年3月まで継続されることが確定しているところだが、その後の継続については未定である。この地域にとって大変重要なので引き続き利用拡大を進めていきたい。

大阪線は、夏の間だけ限定運航であるが、期間が延びるようまた維持できるよう利用促進に取り組んでいきたい。

・柿本人麿没後1300年

今から300年前の享保8年に1000年忌が行われ、朝廷からも柿本大明神という神様に祀ることが決められたことから、今年が1300年という事になる。地元の方を中心に没後1300年を記念した様々なイベントが行われた。人麿も雪舟と並び益田を代表する文化的な偉人であるので、顕彰を通じ文化、観光いろいろな面で民間の団体とも連携し取り組んでいきたいと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 固定資産税資料の閲覧について
- ② 地籍調査について
- ③ 市道の整備について
- ④ 有害鳥獣等の処理について
- ⑤ バス路線のルートについて
- ⑥ 農業用水路の維持管理について
- ⑦ 県道の倒木処理について
- ⑧ 福祉施設の維持について
- ⑨ 公民館の建て替えについて

○ 閉会（秘書課長）

# 令和5年度「市長と語り合う会」

〔会場 北仙道公民館 開催日時：令和5年10月23日（月）19:00～19:50〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 固定資産税資料の閲覧について 相続の手続きを行った際に法務局で切り図をもらったが、明治22年2月のもので場所も境界もわからない。市役所で固定資産税に関する資料等があれば見せていただきたい。</p>	<p>① どこまで公開できるかわからないので担当課に確認し公民館をとおして回答する。</p>
<p>② 地籍調査について 国交省のホームページで、益田市の進捗が13%となっている。山間部では、住んでいる人がいなくなり境界等わからなくなっている。木を伐ることも土地を売ることもできない。市へ確認すると益田道路や災害を優先すると言われたが、私の土地も代が変わればどうしようもなくなるので地籍調査を早くしてほしいし、地権者の境界確認である1次調査だけでも早くしてほしい。 また、市のホームページで、今後の長期的な計画等を掲載してほしい。</p>	<p>② 毎年調査を行っているが、面積も広く所有者の確定にも手間がかかり進んでいないのが現状である。重要性の高い所、特に高速道路の整備予定地については、土地の買収が進まない整備ができないので、優先的に進めているところであるが、今後何とか早く進めるようにしたい。また、財源として市負担も多額の費用が掛かかるので、全体予算の中で対応が限定されるのが現状であるが、大きな課題であるので、今後も検討していきたい。</p>
<p>③市道の整備について 防災面においても道路は大事である。この度道路改良を行っていただいたが部分的であるので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>	<p>③ わかりました。</p>
<p>④ 有害鳥獣等の処理について 駆除した鹿の肉を動物園に餌として売る取り組みをテレビで放送していた。いま、豚コレラの影響でイノシシ肉が売れないので、同じように餌にすることはできないか。</p>	<p>④ 規程があるようで、豚熱の豚が発見された地域から、一定の範囲の肉については、他者へ譲り渡してはいけないことになっている。益田市でも発生したので、一定期間経たなければ、活用することができないと思う。イノシシ以外は問題ないと思う。</p>
<p>⑤ バス路線のルートについて 朝一番に市内に向かうバスが減便になった。次に出るのが10時くらいの便であるが、バスの経路について日赤を通過するようになれば乗客も増えるのではないかと思う。市からバス会社へお願ひしてほしい。</p>	<p>⑤ ルートの変更となると市の一存という事にはならないし、バス会社の考え方等もあり直ぐにという事にはならないと思うが、ご意見があったことは、バス会社へお伝えしたい。</p>
<p>⑥ 農業用水路の維持管理について 水路の管理組合のお世話をしているが、一番懸念しているのは、大雨による災害である。持続可能なでいうと絶対に守っていかないといけない。災害等で被害にあった場合の市の補助や政策等を検討頂きたい。</p>	<p>⑥ 農業に必要な用水路については、水利組合で管理していただいているが、災害で被害が起こった時のことについては、心配であろうと思う。これについては、どういうことができるか確認し公民館をとおして回答したい。</p>
<p>⑦ 県道の倒木処理について 県道で木が倒れているところがあるが、県へ働きかけ早く処分してほしい。倒れて5, 6年になるが、県も地権者と対応ができないようである。この4月に法律が変わり道路に出た木は地権者に関係なく切ってもいいと法律が変わったので、その点はいいのではないか。</p>	<p>⑦ 調べて回答する。</p>

⑧ 福祉施設の維持について

当地区においても人口減少が進み、保育所、デイサービスも経営が厳しい状況である。地域にとって必要な施設であり維持、継続できるように、市としての配慮も考えていただければと思う。

⑨ 公民館の建て替えについて

昨年、お願いに行ったが、老朽化による公民館の建て替えについて、早い対応をお願いしたい。

⑧ 必要なサービスは継続できるよう、市も一緒に考えていきたい。

⑨ 老朽化した公民館が幾つかあり、順次建て替えが進むよう計画的に進めていきたいと考えている。